



2023年 3月11日
第158号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



東日本大震災から12年

2023年3月11日で東日本大震災から12年を迎えました。復興庁の発表によると、2023年2月1日現在、東日本大震災により全国で避難されている方は約3.1万人いらっしゃるということです。

東日本大震災による津波で事故を起こした福島第一原発は事故から12年たった現在も廃炉の見通しは立っていません。1号機から3号機まで溶け落ちたデブリの総量は880トンもありますが、わずか1グラムのデブリを試験的に取り出すことすら実現できていないのが現状です。また、溜まり続ける放射性物質トリチウムが含まれた処理水を国は漁業関係者などが反対しているにも関わらず、夏頃にも海に放出するとの見通しを示しています。

福島第一原発事故の問題が解決しない中で、岸田政権は原発の新規建設や60年を超えた運転を可能とする方針を打ち出し、震災後に見直した政策を大きく転換し、原発再稼働に向けて動き始めています。

JR東労組は東日本大震災現地踏査を行い、多くの組合員が被災地の現実や原発事故の恐ろしさを学ぶことができました。今後も学びを深め、被災地に寄り添い、安心して暮らせる社会を実現するための取り組みを行っていきます。

私たちはあの日を、被災地を忘れない。

仲間と共に安心して暮らせる社会を実現しよう！